

再評価結果（令和２年度事業継続箇所）（原案）

事業名	一般国道 1 1 号 こまつ 小松バイパス			事業区分	一般国道	事業主体	国土交通省 四国地方整備局
起終点	自：愛媛県西条市小松町新屋敷 至：愛媛県西条市小松町安井					延長	7.5km
事業概要	一般国道11号は、徳島市を起点に四国の北部を瀬戸内海沿いに徳島県・香川県及び愛媛県下の主要都市を経て松山市に至る全長約230kmの主要幹線道路であり、産業・経済を支える大動脈であるとともに、通勤・日常生活を支える生活道路としての役割をもつ重要路線である。 一般国道11号小松バイパスは、一般国道11号西条市バイパス及び主要地方道壬生川新居浜野田線と一体となり、一般国道11号のバイパスとして機能し、いよ小松北IC・いよ小松ICと西条臨海工業団地や東予港とのアクセスが向上するなど、地元産業、経済の活性化に寄与する道路である。						
H3年度事業化		H3年度都市計画決定		H4年度用地着手		H10年度工事着手	
全体事業費		約183億円	事業進捗率	約61%	供用済延長	2.0km	
			(平成31年3月末時点)				
計画交通量		14,400～22,500台／日					
費用対効果 分析結果	B／C (事業全体) 1.5 (残事業) 3.2	総費用 (残事業)/(事業全体) 87/ 241億円 事業費：61/ 209億円 維持管理費：26/ 32億円	総便益 (残事業)/(事業全体) 278/359億円 走行時間短縮便益：252/ 327億円 走行経費減少便益：19/ 25億円 交通事故減少便益：6.7/ 6.8億円	基準年 令和元年			
感度分析の結果	(事業全体) 交通量：B/C＝1.3～1.8 (交通量 ±10%) (残事業) 交通量：B/C＝2.9～3.9 (交通量 ±10%) 事業費：B/C＝1.5～1.5 (事業費 ±10%) 事業費：B/C＝3.0～3.4 (事業費 ±10%) 事業期間：B/C＝1.4～1.6 (事業期間±20%) 事業期間：B/C＝3.1～3.3 (事業期間±20%)						
事業の効果等							
①円滑なモビリティの確保 ・現道等の時間損失の削減が見込まれる。 ・並行する現道で運行している路線バスの所要時間が短縮し、定時性の向上が見込まれる。 ・JR壬生川駅、JR伊予西条駅（特急停車駅）へのアクセス向上が期待される。 ・松山空港へのアクセス向上が期待される。 ②物流効率化の支援 ・東予港（重要港湾）へのアクセス向上が期待される。 ・西条市が目指す総合6次産業都市の実現を支援する。 ③都市の再生 ・西条地区の愛媛地域高度技術産業集積活性化計画を支援 ④国土・地域ネットワークの構築 ・日常活動圏中心都市へのアクセス向上が期待される。 ⑤個性ある地域の形成 ・主要観光地へのアクセス向上が期待される。 ⑥安全で安心できるくらしの確保 ・三次医療施設へのアクセス向上が期待される。 ⑦災害への備え ・愛媛県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に位置づけられている。 ・緊急輸送道路が通行止めとなった場合に大幅な迂回を強いられる路線の代替路が形成される。 ⑧地球環境の保全 ・CO2排出量の削減が見込まれる。 ⑨生活環境の改善・保全 ・NOX排出量の削減が見込まれる。 ・SPM排出量の削減が見込まれる。							

・夜間要請限度の超過区間が改善される。	
⑩その他 ・愛媛県「道路の整備に関するプログラム2018～2027」に位置づけられている。 ・現道区間の交通安全（歩行者・自動車）向上が期待できる。	
関係する地方公共団体等の意見 ・周辺の自治体である西条市より、本事業の整備促進について、積極的な要望活動が続けられている。（H29.4、H30.4、R1.9） ・愛媛県知事の意見 対応方針（原案）については異議ありません。本事業は、西条市内の国道11号のバイパスとして臨海工業団地や東予港と市内ICとのアクセスが向上すること、現国道の渋滞緩和や交通安全の確保につながることなど、地元産業、経済の活性化に寄与する重要な道路であることから、引き続きコスト縮減に努めるとともに、事業推進をお願いします。	
事業評価監視委員会の意見 ・「事業継続」とする事業者の判断は「妥当」である。	
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 ・平成18年5月（主）壬生川新居浜野田線（東予有料道路）延長3.5km 無料化 ・平成19年2月（主）壬生川新居浜野田線 開通 ・平成20年3月（一）丹原小松線 開通 ・平成20年3月（一）南川壬生川停車場線 開通 （その他） ・平成19年4月 大型ショッピングセンター（西条市新田）オープン ・平成19年11月 観光エリア（鉄道歴史パーク in SAIJO）オープン	
事業の進捗状況、残事業の内容等 ・用地進捗率約58%、事業進捗率約61%（平成31年3月末時点） ・西条市小松町北川～西条市小松町妙口間（延長2.0km）については、平成20年3月までに部分開通	
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 ・調査設計及び西条市小松町新屋敷地区において用地買収推進中。	
施設の構造や工法の変更等 ・今後も新技術、新工法の採用による工事コストの縮減に加えて、施設の長寿命化や維持管理を考慮した構造の採用等、総コストの縮減に努めていくこととする。	
対応方針	事業継続
対応方針決定の理由 ・以上の状況を勘案すれば、事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。	
事業概要図  一般国道11号 小松バイパス  凡例 未開通 暫定開通 再評価箇所 高速道路 一般国道（指定区間） 一般国道（指定区間外） 主要地方道 一般県道 その他の道路 暫定供用(2/4) H11年3月 延長200m H13年3月 延長700m H20年3月 延長1,100m	

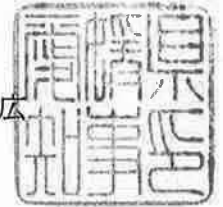
※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。



元土（技）第 478 号
令和元年 10 月 3 日

四国地方整備局長 様

愛媛県知事 中村 時広



四国地方整備局事業評価監視委員会に諮る対応方針（原案）の
作成に係る意見照会について（回答）

令和元年 9 月 25 日付け国四整企画第 15 号で依頼のあった標記について、別紙の
とおり回答いたします。

次の再評価に係る「対応方針(原案)」案については異議ありません。

【道路事業】 1 件

事業名	「対応方針(原案)」案	備考
一般国道11号 小松バイパス	継続	

なお、事業に対する意見は下記のとおりです。

記

本事業は、西条市内の国道11号のバイパスとして臨海工業団地や東予港と市内ICとのアクセスが向上すること、現国道の渋滞緩和や交通安全の確保につながるなど、地元産業、経済の活性化に寄与する重要な道路であることから、引き続きコスト縮減に努めるとともに、事業促進をお願いします。

(再評価)

様式－１ 客観的評価指標による事業採択の前提条件、事業の効果や必要性の確認の状況

事業名	一般国道１１号 小松バイパス
事業主体	四国地方整備局

●事業採択の前提条件を確認するための指標

	指 標	指標チェックの根拠
前提条件	事業の効率性 ■ 便益が費用を上回っている	全 体：費用便益比(3便益) (B/C)=1.5 (経済的純現在価値(B-C)=118億円、経済的内部収益率(EIRR)=6.0%) 残事業：費用便益比(3便益) (B/C)=3.2 (経済的純現在価値(B-C)=191億円、経済的内部収益率(EIRR)=20.7%)

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標	指標チェックの根拠
1. 活力	円滑な モビリティ の確保	● 現道等の年間時間損失及び削減率	時間損失削減量：464万人時間/年 削減率：87.5%
		□ 現道等における混雑時旅行速度が20km/h未満である区間の旅行速度の改善が期待される	－
		□ 現道又は並行区間等における踏切交通遮断量が10,000台時/日以上での踏切道の除却もしくは交通改善が期待される	－
		■ 現道等に、当該路線の整備により利便性の向上が期待できるバス路線が存在する	現道を利用する路線バス せとうちバス 平日39便/日、休日36便/日（往復）
		■ 新幹線駅もしくは特急停車駅へのアクセス向上が見込まれる	JR伊予西条駅（特急停車駅） 西条市丹原町明穂地区～JR伊予西条駅 約4分短縮（28分⇒24分）
		■ 第一種空港、第二種空港、第三種空港もしくは共用飛行場へのアクセス向上が見込まれる	松山空港 西条市役所～松山空港 約5分短縮（114分⇒109分）
	物流効率化 の支援	■ 重要港湾もしくは特定重要港湾へのアクセス向上が見込まれる	東予港（重要港湾） 東予港（西条臨海工業用地）～いよ小松IC 約3分短縮（19分⇒16分）
		■ 農林水産業を主体とする地域において農林水産品の流通の利便性が向上	西条市が目指す総合6次産業都市の実現を支援
		□ 現道等における、総重量25tの車両もしくはISO規格背高海上コンテナ輸送車が通行できない区間を解消する	－
	都市の再生	■ 都市再生プロジェクトを支援する事業である	愛媛地域高度技術産業集積活性化計画を支援
		□ 広域道路整備基本計画に位置づけのある環状道路を形成する	－
		□ 市街地再開発、区画整理等の沿道まちづくりとの連携あり	－
		□ 中心市街地内で行う事業である	－

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標	指標チェックの根拠
1. 活力	都市の再生	☐ 幹線都市計画道路網密度が1.5km/km2以下である市街地内での事業である	—
		☐ DID区域内の都市計画道路整備であり、市街地の都市計画道路網密度が向上する	—
		☐ 対象区間が現在連絡道路がない住宅地開発(300戸以上又は16ha以上、大都市においては100戸以上又は5ha以上)への連絡道路となる	—
	国土・地域ネットワークの構築	☐ 高速自動車国道と並行する自専道（A'路線）としての位置づけ有り	—
		☐ 地域高規格道路の位置づけあり	—
		☐ 当該路線が新たに拠点都市間を高規格幹線道路で連絡するルートを構成する	—
		☐ 当該路線が隣接した日常活動圏中心都市間を最短時間で連絡する路線を構成する	—
		☐ 現道等における交通不能区間を解消する	—
		☐ 現道等における大型車のすれ違い困難区間を解消する	—
		■ 日常活動圏の中心都市へのアクセス向上が見込まれる	西条市丹原町明穂地区～西条市役所 約5分短縮（28分⇒23分）
	個性ある地域の形成	☐ 鉄道や河川等により一体的発展が阻害されている地区を解消する	—
		☐ 拠点開発プロジェクト、地域連携プロジェクト、大規模イベントを支援する	—
		■ 主要な観光地へのアクセス向上が期待される	四国鉄道文化館、アサヒビール四国工場 いよ小松IC～四国鉄道文化館 約3分短縮（25分⇒22分）
		☐ 特別立法に基づく事業である	—
		☐ 新規整備の公共公益施設へ直結する道路である	—
		☐ 歴史的景観を活かした道路整備や中心商店街のシンボリックな道路整備等、特色あるまちづくりに資する事業である	—
2. 暮らし	歩行者・自転車のための生活空間の形成	自転車交通量が500台/日以上、自動車交通量が1,000台/12h以上、歩行者交通量が500人/日以上全ての該当する区間において、自転車利用空間を整備することにより、当該区間の歩行者・自転車の通行の快適・安全性の向上が期待できる	—
		☐ 交通バリアフリー法における道路特定事業に位置付けがある、または、交通バリアフリー法に基づく重点整備地区における特定経路を形成する区間が新たにバリアフリー化される	—
	無電柱化による美しい町並みの形成	☐ 対象区間が電線類地中化5ヶ年計画に位置づけ有り	—
		☐ 市街地又は歴史景観地区（歴史的風土特別保存区域及び重要伝統的建造物保存地区）の幹線道路において新たに無電柱化を達成する	—

●事業の効果や必要性を評価するための指標

政策目標		指 標	指標チェックの根拠
2. 暮らし	安全で安心できる くらしの確保	■ 三次医療施設へのアクセス向上が見込まれる	東予救命救急センター（三次医療施設） 西条市丹原町明穂地区～東予救命救急センター 約4分短縮（48分⇒44分） 西条市民病院（二次医療施設） 西条市丹原町明穂地区～西条市民病院 約3分短縮（9分⇒6分）
3. 安全	安全な生活 環境の確保	☐ 現道等に死傷事故率が500件/億台キロ以上である区間が存在する場合において、交通量の減少、歩道の設置又は線形不良区間の解消等により、当該区間の安全性の向上が期待できる	—
		☐ 当該区間の自動車交通量が1,000台/12h以上（当該区間が通学路である場合は500台/12h以上）かつ歩行者交通量100人/日以上（当該区間が通学路である場合は学童、園児が40人/日以上）の場合、又は歩行者交通量500人/日以上の場合において、歩道が無い又は狭小な区間に歩道が設置される	—
	災害への備え	☐ 近隣市へのルートが1つしかなく、災害による1～2箇所の道路寸断で孤立化する集落を解消する	—
		対象区間が、都道府県地域防災計画、緊急輸送道路ネットワーク計画又は地震対策緊急整備事業計画に位置づけがある、又は地震防災緊急事業五ヶ年計画に位置づけのある路線（以下「緊急輸送道路」という）として位置づけあり	愛媛県地域防災計画において第一次緊急輸送道路に指定
		■ 緊急輸送道路が通行止になった場合に大幅な迂回を強いられる区間の代替路線を形成する	松山自動車道、国道11号現道等
		☐ 並行する高速ネットワークの代替路線として機能する（A'路線としての位置づけがある場合）	—
		☐ 現道等の防災点検又は震災点検要対策箇所もしくは架替の必要のある老朽橋梁における通行規制等が解消される	—
		☐ 現道等の事前通行規制区間、特殊通行規制区間又は冬期交通障害区間を解消する	—
		☐ 避難路へ1km以内で到達できる地区が新たに増加する	—
		☐ 幅員6m以上の道路がないため消火活動が出来ない地区が解消する	—
		☐ 密集市街地における事業で火災時の延焼遮断帯の役割を果たす	—
4. 環境	地球環境の 保全	● 対象道路の整備により削減される自動車からのCO2排出量	CO2排出量の削減が見込まれる ・CO2排出削減量：4千t-CO2/年、CO2排出削減率：1%
	生活環境の 改善・保全	● 現道等における自動車からのNO2排出削減率	NO2排出量の削減が見込まれる ・NO2排出削減量：37.2t-NO2/年、NO2排出削減率：79%
		● 現道等における自動車からのSPM排出削減率	SPM排出量の削減が見込まれる ・SPM排出削減量：2.2t-SPM/年、SPM排出削減率：80%
		■ 現道等で騒音レベルが夜間要請限度を超過している区間について、新たに要請限度を下回ることが期待される区間がある	騒音の低減が期待される
		☐ その他、環境や景観上の効果が期待される	—
5. その他	他のプロジェクトとの関係	☐ 道路の整備に関するプログラム又は都市計画道路整備プログラムに位置づけられている	—
		☐ 関連する大規模道路事業と一体的に整備する必要あり	—
		☐ 他機関との連携プログラムに位置づけられている	—
		■ その他、対象地域や事業に固有の事情等、以上の項目に属さない効果が見込まれる	小松バイパスへ交通が転換することにより現道区間の交通安全（歩行者・自動車）向上が期待できる

費用便益分析の結果

路線名	事業名	延長	事業種別	現拡・ＢＰ・その他の別
一般国道11号	小松バイパス	L=7.5km	二次改築	BP

計画交通量 (台/日)	車線数	事業主体
14,400～22,500	4	四国地方整備局

① 費 用

	事業費	維持管理費	合 計
基 準 年	令和元年度		
単純合計	171億円	66億円	238億円
うち残事業分	76億円	79億円	155億円
基準年における 現在価値（C）	209億円	32億円	241億円
うち残事業分	61億円	26億円	87億円

② 便 益

	走行時間 短縮便益	走行経費 減少便益	交通事故 減少便益	合 計
基 準 年	令和元年度			
供 用 年	平成20年度（暫定）、令和4年度（暫定） 令和11年度（暫定）、令和12年度（完成）			
単年便益 (初年便益)	3.2億円	0.27億円	0.03億円	3.5億円
基準年における 現在価値（B）	327億円	25億円	6.8億円	359億円
うち残事業分	252億円	19億円	6.7億円	278億円

③ 結 果

費用便益比（B／C）	1.5
経済的純現在価値（B－C）	118億円
経済的内部収益率（EIRR）	6.0%
費用便益比（残事業）	3.2
経済的純現在価値（残事業）	191億円
経済的内部収益率（残事業）	20.7%

注）費用及び便益の合計は、表示桁数の関係で計算値と一致しないことがある。

④ 感 度 分 析

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	14,400～22,500	±10%	1.3～1.8
事業費	171億円	±10%	1.5～1.5
事業期間	39年	±20%	1.4～1.6

（残事業を対象）

変動要因	基準値	変動ケース	費用便益比（B／C）
交通量	14,400～22,500	±10%	2.9～3.9
事業費	76億円	±10%	3.0～3.4
事業期間	10年	±20%	3.1～3.3

様式記入上の留意点

1. 基準年は評価実施年度とする。残事業分は評価実施年度の翌年度以降分を計上。
2. 費用及び便益額は整数止（費用・便益の額によって小数点以下2桁）とする。
3. 費用便益比は小数点以下1桁とする。
4. 単年便益（初年便益）は4月1日供用を前提として算出

交通状況の変化

【事業全体】

様式－3①

事業名：小松バイパス

(推計時点 R 1 2 年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 小松バイパス : 7.5km		交通量※ ¹	[台/日]	19,067	
		走行時間※ ²	[分]	9	
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	35.41	
②主な周 辺道路※ ⁴	国道11号 (現道) : 6.0km	交通量	[台/日]	14,956	4,269
		走行時間	[分]	11	9
		走行時間費用	[億円/年]	35.91	7.84
	国道196 号 : 1.5km	交通量	[台/日]	15,498	4,658
		走行時間	[分]	3	2
		走行時間費用	[億円/年]	10.28	2.13
	丹原小松 線 : 8.7km	交通量	[台/日]	6,591	1,770
		走行時間	[分]	16	15
		走行時間費用	[億円/年]	20.78	5.26
	壬生川丹 原線 : 4.6km	交通量	[台/日]	14,614	12,436
		走行時間	[分]	10	9
		走行時間費用	[億円/年]	25.25	20.23
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計：641.1km		走行時間費用	[億円/年]	1,248.34	1,249.01

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計：669.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,340.56	1,319.88	20.68

※ 1 : 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

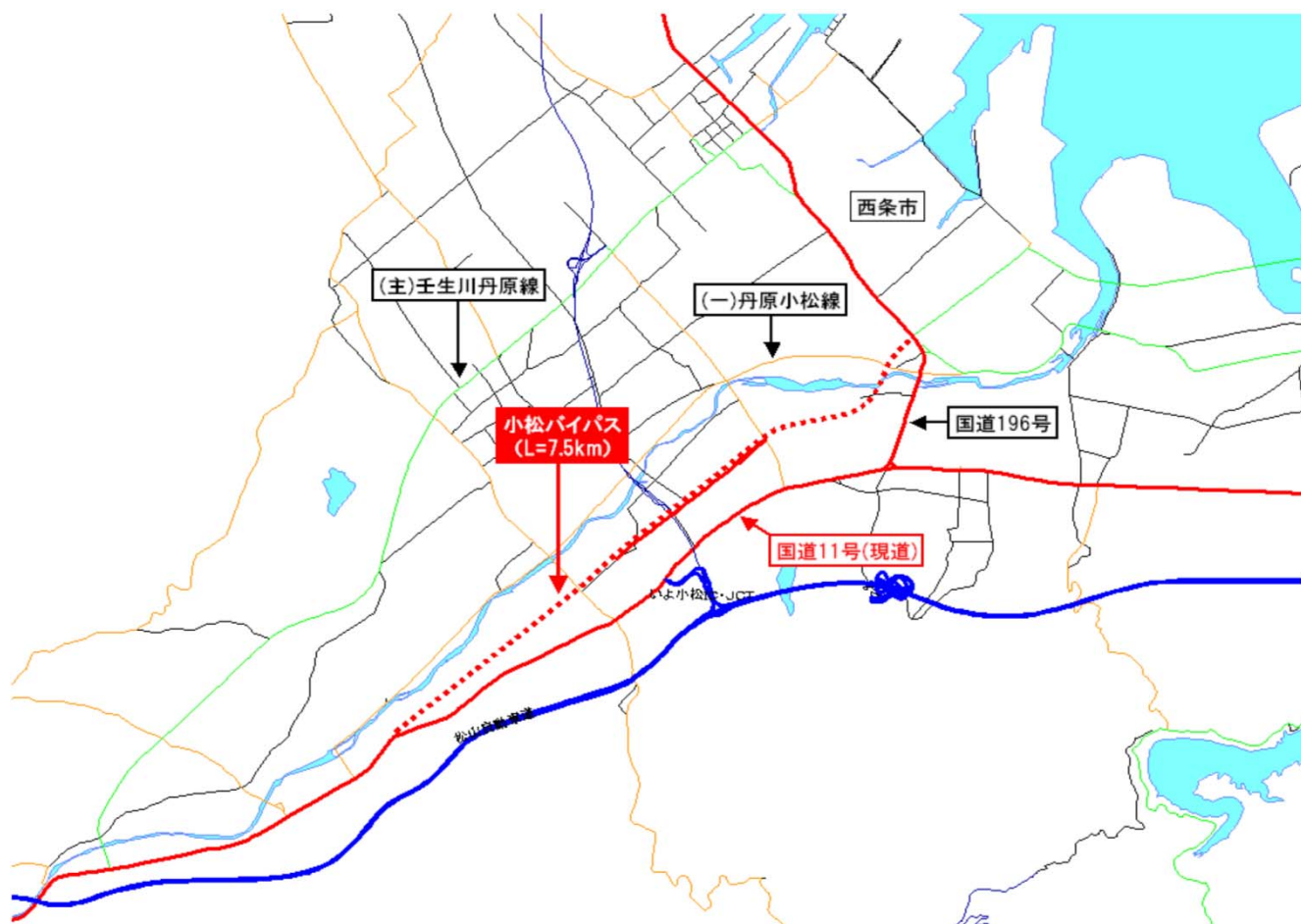
※ 2 : 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※ 3 : 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※ 4 : 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※ 5 : ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



交通状況の変化

【残事業】

様式－3①

事業名：小松バイパス

(推計時点 R 1 2 年)

			整備なし (A)	整備あり (B)	
①新設・改築道路 小松バイパス : 7.5km		交通量※ ¹	[台/日]	5,205	19,067
		走行時間※ ²	[分]	3	9
		走行時間費用※ ³	[億円/年]	2.54	35.41
②主な周 辺道路※ ⁴	国道11号 (現道) : 6.0km	交通量	[台/日]	14,049	4,269
		走行時間	[分]	11	9
		走行時間費用	[億円/年]	32.94	7.84
	国道196 号 : 1.5km	交通量	[台/日]	15,822	4,658
		走行時間	[分]	3	2
		走行時間費用	[億円/年]	10.15	2.13
	丹原小松 線 : 8.7km	交通量	[台/日]	5,864	1,770
		走行時間	[分]	16	15
		走行時間費用	[億円/年]	18.51	5.26
	壬生川丹 原線 : 4.6km	交通量	[台/日]	14,475	12,436
		走行時間	[分]	10	9
		走行時間費用	[億円/年]	24.94	20.23
		交通量	[台/日]		
		走行時間	[分]		
		走行時間費用	[億円/年]		
③その他道路合計 : 641.1km		走行時間費用	[億円/年]	1,248.40	1,249.01

			走行時間費用 整備なし (A)	走行時間費用 整備あり (B)	走行時間短縮便益 (A - B)
合計 : 669.4km	走行時間短縮便益	[億円/年]	1,337.48	1,319.88	17.60

※1： 当該道路内の平均値または代表的な値を記載する。

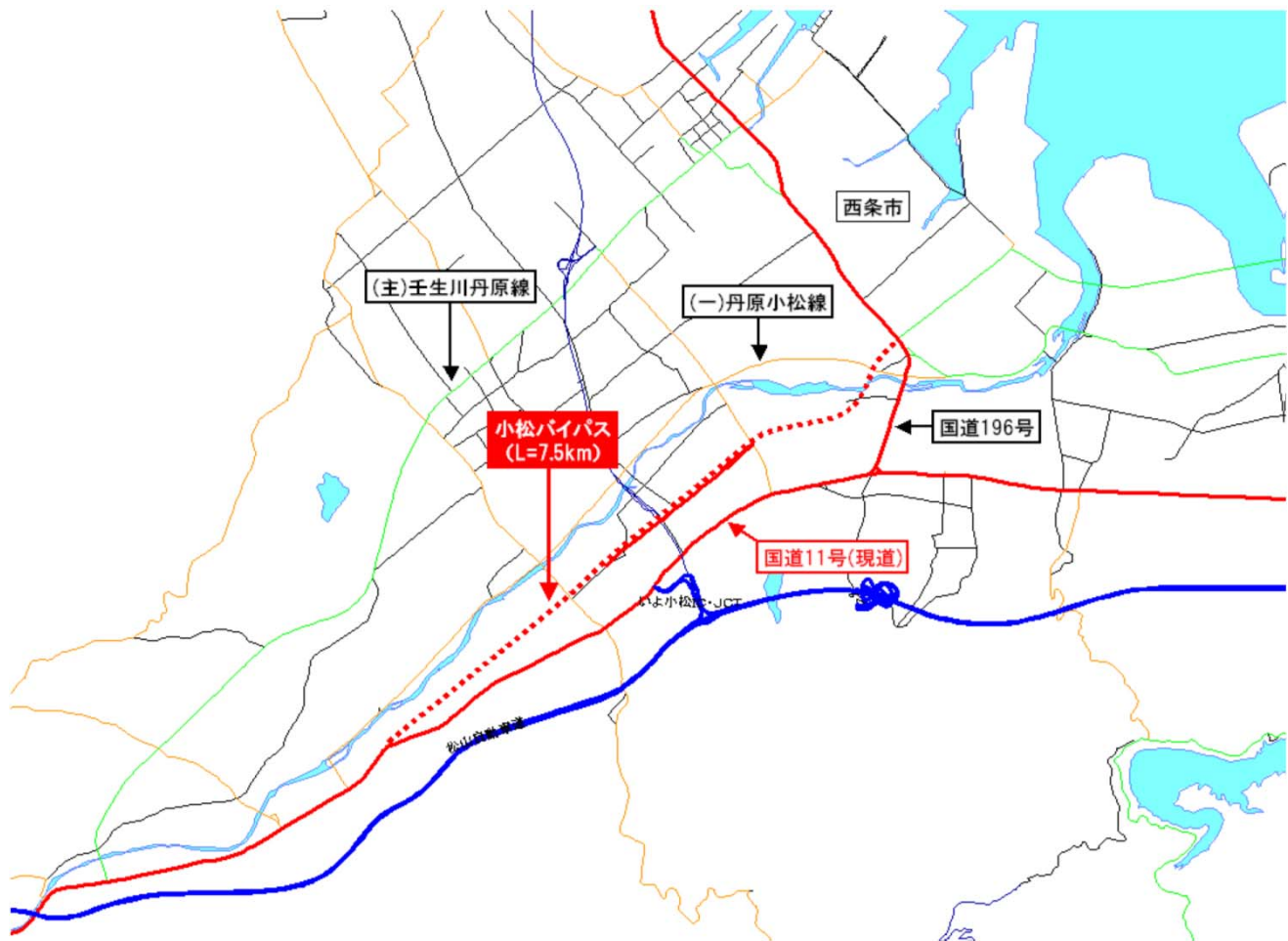
※2： 配分計算結果を用いる場合と当該道路の代表的な速度から算出する場合がある。

※3： 費用便益分析マニュアルに従い車種別、区間別に算出したものの合計値である。

※4： 当該事業により大きな変化が生じる道路について3～5路線程度以内で記載する。

※5： ②主な周辺道路における交通量の予測地点は、事業全体と残事業で同地点において設定する。

(2) 図面(①、②)に該当する道路を明示すること)



費用便益分析の条件

事業名：小松バイパス

(2)

項目		チェック欄		
算出マニュアル	費用便益分析マニュアル (平成30年2月 国土交通省 道路局 都市局)	☒		
	その他	☐		
分析の基本的事項	分析対象期間	50年		
	社会的割引率	4%		
	基準年次	令和元年		
交通流推計	交通流の推計時点	1時点のみ推計	☒ (R12)	
		複数時点での推計	☐	
	推計の状況	整備の有無それぞれで交通流を推計	☒	
		整備の有無のいずれかのみ推計	☐ 有 ☐ 無	
		いずれかのみ の推計の場合	いずれかのみ推計とした理由を記載	
	推計に用いたOD表	道路交通センサスをベースとした自動車OD表 (三段階推定法)	☒ (H22センサス)	
		パーソントリップ調査をベースとした自動車OD表 (四段階推定法)	☐	
		その他()	☐	
		無	☒	
	開発交通量の考慮	有	☐	
		有の場合のみ	考慮した開発交通量(トリップ数)	
			考慮した理由を記載	
	配分交通量の推計手法	Q－V式を用いた配分		☐
		転換率式を用いた配分		☐
		Q－V式と転換率式の併用による配分		☒
		均衡配分(リンクパフォーマンス関数を用いた配分)		☐
		簡易手法		☐
		簡易手法の 採択理由	小規模事業である	☐
			山間部海岸部で併行道路が少ない	☐
			その他()	
簡易手法の考え方(将来交通量の設定方法等)				
速度設定の考え方	各回の配分終了時の速度を交通量でウェイト付けして設定		☒	
	採用理由を記載 交通量推計結果について、交通容量(Qmax)以上の路線交通容量(Qmin～Qmax)内の路線等が混在した配分結果となっているため、便益算出においては速度差の生ずる「加重平均速度」を用いた。			
	最終配分の速度		☐	
	採用理由を記載			
	その他()		☐	

便益の算定

[illegible]

費用の現在価値算定表

箇所名：小松バイパス 【事業全体】

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割戻率	GDP デフレーター	事業費(億円)		維持管理費(億円)	
				単純単価	現在価値	単純単価	現在価値
				単価(億円)	延長(km)	単純単価(億円)	
				0.30	7.5	2.25	
-17年目	H 3	2.9987	116.0	0.29	0.78		
-16年目	H 4	2.8834	117.6	0.10	0.25		
-15年目	H 5	2.7725	117.9	0.19	0.47		
-14年目	H 6	2.6658	117.8	0.19	0.45		
-13年目	H 7	2.5633	117.1	0.39	0.88		
-12年目	H 8	2.4647	116.6	2.00	4.36		
-11年目	H 9	2.3699	117.5	0.09	0.18		
-10年目	H 10	2.2788	116.9	16.12	32.36		
-9年目	H 11	2.1911	115.2	5.94	11.64		
-8年目	H 12	2.1068	113.8	4.76	9.07		
-7年目	H 13	2.0258	112.4	1.71	3.17		
-6年目	H 14	1.9479	110.5	9.52	17.28		
-5年目	H 15	1.8730	109.0	8.48	15.01		
-4年目	H 16	1.8009	107.9	4.30	7.38		
-3年目	H 17	1.7317	106.7	0.96	1.61		
-2年目	H 18	1.6651	105.9	0.14	0.23		
-1年目	H 19	1.6010	105.0	5.87	9.21		
暫定供用開始年次	H 20	1.5395	104.4	0.05	0.07	0.35	0.53
1年目	H 21	1.4802	103.0	0.19	0.29	0.35	0.52
2年目	H 22	1.4233	101.3	0.15	0.22	0.35	0.51
3年目	H 23	1.3686	99.8	0.29	0.40	0.35	0.50
4年目	H 24	1.3159	99.0	0.95	1.30	0.35	0.48
5年目	H 25	1.2653	99.0	0.95	1.25	0.35	0.46
6年目	H 26	1.2167	101.5	0.95	1.17	0.35	0.43
7年目	H 27	1.1699	103.0	1.12	1.31	0.35	0.41
8年目	H 28	1.1249	102.8	16.44	18.53	0.35	0.40
9年目	H 29	1.0816	103.0	7.62	8.24	0.35	0.38
10年目	H 30	1.0400	103.0	2.88	3.00	0.35	0.37
11年目	R 1	1.0000	103.0	2.13	2.13	0.35	0.35
12年目	R 2	0.9615	103.0	1.93	1.85	0.35	0.34
13年目	R 3	0.9246	103.0	6.57	6.08	0.35	0.33
暫定供用開始年次	R 4	0.8890	103.0	3.10	2.76	0.42	0.37
15年目	R 5	0.8548	103.0	8.86	7.57	0.42	0.36
16年目	R 6	0.8219	103.0	12.35	10.15	0.42	0.34
17年目	R 7	0.7903	103.0	13.15	10.40	0.42	0.33
18年目	R 8	0.7599	103.0	13.77	10.47	0.42	0.32
19年目	R 9	0.7307	103.0	10.09	7.37	0.42	0.31
20年目	R 10	0.7026	103.0	4.55	3.19	0.42	0.29
暫定供用開始年次	R 11	0.6756	103.0	2.02	1.36	1.31	0.88
完成供用開始年次	R 12	0.6496	103.0			2.05	1.33
23年目	R 13	0.6246	103.0			2.05	1.28
24年目	R 14	0.6006	103.0			2.05	1.23
25年目	R 15	0.5775	103.0			2.05	1.18
26年目	R 16	0.5553	103.0			2.05	1.14
27年目	R 17	0.5339	103.0			2.05	1.09
28年目	R 18	0.5134	103.0			2.05	1.05
29年目	R 19	0.4936	103.0			2.05	1.01
30年目	R 20	0.4746	103.0			2.05	0.97
31年目	R 21	0.4564	103.0			2.05	0.93
32年目	R 22	0.4388	103.0			2.05	0.90
33年目	R 23	0.4220	103.0			2.05	0.86
34年目	R 24	0.4057	103.0			2.05	0.83
35年目	R 25	0.3901	103.0			2.05	0.80
36年目	R 26	0.3751	103.0			2.05	0.77
37年目	R 27	0.3607	103.0			2.05	0.74
38年目	R 28	0.3468	103.0			2.05	0.71
39年目	R 29	0.3335	103.0			2.05	0.68
40年目	R 30	0.3207	103.0			2.05	0.66
41年目	R 31	0.3083	103.0			2.05	0.63
42年目	R 32	0.2965	103.0			2.05	0.61
43年目	R 33	0.2851	103.0			2.05	0.58
44年目	R 34	0.2741	103.0			2.05	0.56
45年目	R 35	0.2636	103.0			2.05	0.54
46年目	R 36	0.2534	103.0			2.05	0.52
47年目	R 37	0.2437	103.0			2.05	0.50
48年目	R 38	0.2343	103.0			2.05	0.48
49年目	R 39	0.2253	103.0	-21.80	-4.91	2.05	0.46
合 計				149.35	208.53	66.44	32.25
単純事業費計				171.15		66.44	

注1) 事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
 このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
 (投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。)

注2) 評価対象期間最終年において、用地残存価値(割引後の用地費)を控除している。

費用の現在価値算定表

箇所名：小松バイパス 【残事業】

維持管理費の単純単価の算出(消費税相当額含む)

年次	年度	割引率	GDP デフレーター	事業費 (億円)		維持管理費 (億円)	
				単純価値	現在価値	単純価値	現在価値
-10年目	R 2	0.9615	103.0	1.93	1.85		
-9年目	R 3	0.9246	103.0	6.57	6.08		
暫定供用開始年次	R 4	0.8890	103.0	3.10	2.76	0.06	0.06
1年目	R 5	0.8548	103.0	8.86	7.57	0.06	0.05
2年目	R 6	0.8219	103.0	12.35	10.15	0.06	0.05
3年目	R 7	0.7903	103.0	13.15	10.40	0.06	0.05
4年目	R 8	0.7599	103.0	13.77	10.47	0.06	0.05
5年目	R 9	0.7307	103.0	10.09	7.37	0.06	0.05
6年目	R 10	0.7026	103.0	4.55	3.19	0.06	0.04
暫定供用開始年次 完成供用開始年次	R 11	0.6756	103.0	2.02	1.36	0.96	0.65
9年目	R 12	0.6496	103.0			1.84	1.19
10年目	R 13	0.6246	103.0			1.84	1.15
11年目	R 14	0.6006	103.0			1.84	1.10
12年目	R 15	0.5775	103.0			1.84	1.06
13年目	R 16	0.5553	103.0			1.84	1.02
14年目	R 17	0.5339	103.0			1.84	0.98
15年目	R 18	0.5134	103.0			1.84	0.94
16年目	R 19	0.4936	103.0			1.84	0.91
17年目	R 20	0.4746	103.0			1.84	0.87
18年目	R 21	0.4564	103.0			1.84	0.84
19年目	R 22	0.4388	103.0			1.84	0.81
20年目	R 23	0.4220	103.0			1.84	0.77
21年目	R 24	0.4057	103.0			1.84	0.75
22年目	R 25	0.3901	103.0			1.84	0.72
23年目	R 26	0.3751	103.0			1.84	0.69
24年目	R 27	0.3607	103.0			1.84	0.66
25年目	R 28	0.3468	103.0			1.84	0.64
26年目	R 29	0.3335	103.0			1.84	0.61
27年目	R 30	0.3207	103.0			1.84	0.59
28年目	R 31	0.3083	103.0			1.84	0.57
29年目	R 32	0.2965	103.0			1.84	0.54
30年目	R 33	0.2851	103.0			1.84	0.52
31年目	R 34	0.2741	103.0			1.84	0.50
32年目	R 35	0.2636	103.0			1.84	0.48
33年目	R 36	0.2534	103.0			1.84	0.47
34年目	R 37	0.2437	103.0			1.84	0.45
35年目	R 38	0.2343	103.0			1.84	0.43
36年目	R 39	0.2253	103.0			1.84	0.41
37年目	R 40	0.2166	103.0			1.84	0.40
38年目	R 41	0.2083	103.0			1.84	0.38
39年目	R 42	0.2003	103.0			1.84	0.37
40年目	R 43	0.1926	103.0			1.84	0.35
41年目	R 44	0.1852	103.0			1.84	0.34
42年目	R 45	0.1780	103.0			1.84	0.33
43年目	R 46	0.1712	103.0			1.84	0.31
44年目	R 47	0.1646	103.0			1.84	0.30
45年目	R 48	0.1583	103.0			1.84	0.29
46年目	R 49	0.1522	103.0			1.84	0.28
47年目	R 50	0.1463	103.0			1.84	0.27
48年目	R 51	0.1407	103.0			1.84	0.26
49年目	R 52	0.1353	103.0			1.84	0.25
49年目	R 53	0.1301	103.0	-5.34	-0.69	1.84	0.24
合 計				71.05	60.51	78.54	26.04
単純事業費計				76.39		78.54	

注１）事業費の投資パターンは、費用便益分析の計算条件として設定した標準的な投資パターンであり、必ずしも全体の予算制約等を踏まえたものではない。
このため、毎年度の予算の状況や、用地・工事の進捗により、実際の事業展開とは異なることがある。
（投資パターンの変化による費用便益分析結果への影響等については、再評価及び事後評価として評価を実施。）

注２）評価対象期間最終年において、用地残存価値（割引後の用地費）を控除している。

便益の現在価値算定表

【事業全体】

箇所名：小松バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台和の年次別伸び率 (四国ブロック)				割戻率	GDP デフレーター	走行時間短縮便益 (億円)					走行費用減少便益 (億円)					事故減少便益 (億円)			合計 (億円)		
		R 1	乗用車類	小型貨物	普通貨物			全 車	(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割戻率4%
暫定供用開始年次	H 20	0.99799	0.98053	1.00017	0.99397	1.5395	104.4	1.53	0.77	0.92	3.23	4.91	0.04	0.13	0.09	0.27	0.40	0.03	0.05	3.53	5.36		
1年目	H 21	0.99799	0.98053	1.00017	0.99397	1.4802	103.0	1.53	0.76	0.92	3.21	4.76	0.04	0.12	0.09	0.26	0.39	0.03	0.05	3.51	5.20		
2年目	H 22	0.99799	0.98053	1.00017	0.99397	1.4233	101.3	1.53	0.74	0.92	3.20	4.63	0.04	0.12	0.09	0.26	0.38	0.03	0.05	3.49	5.05		
3年目	H 23	1.00147	1.00237	1.02093	1.00349	1.3686	99.8	1.53	0.75	0.94	3.22	4.55	0.04	0.12	0.10	0.26	0.37	0.03	0.05	3.52	4.97		
4年目	H 24	1.01110	1.01202	1.03055	1.01316	1.3159	99.0	1.55	0.76	0.97	3.27	4.48	0.04	0.12	0.10	0.27	0.37	0.03	0.05	3.58	4.90		
5年目	H 25	0.99679	0.99770	1.01577	0.99883	1.2653	99.0	1.54	0.75	0.99	3.28	4.32	0.04	0.12	0.10	0.27	0.35	0.03	0.04	3.59	4.77		
6年目	H 26	0.98800	0.98892	1.00664	0.99005	1.2167	101.5	1.52	0.75	0.99	3.26	4.03	0.04	0.12	0.10	0.27	0.33	0.03	0.04	3.56	4.40		
7年目	H 27	0.99991	1.00085	1.01859	1.00200	1.1699	103.0	1.52	0.75	1.01	3.28	3.84	0.04	0.12	0.10	0.27	0.32	0.03	0.04	3.58	4.19		
8年目	H 28	0.98855	0.98948	1.00684	0.99062	1.1249	102.8	1.51	0.74	1.02	3.26	3.68	0.04	0.12	0.10	0.27	0.30	0.03	0.04	3.56	4.02		
9年目	H 29	0.99005	0.99099	1.00821	0.99214	1.0816	103.0	1.49	0.73	1.03	3.25	3.52	0.04	0.12	0.10	0.27	0.29	0.03	0.04	3.55	3.84		
10年目	H 30	0.99159	0.99254	1.00961	0.99370	1.0400	103.0	1.48	0.73	1.04	3.24	3.37	0.04	0.12	0.11	0.27	0.28	0.03	0.03	3.54	3.68		
11年目	R 1	0.99234	0.99330	1.01023	0.99447	1.0000	103.0	1.47	0.72	1.05	3.24	3.24	0.04	0.12	0.11	0.27	0.27	0.03	0.03	3.54	3.54		
12年目	R 2	0.99457	0.99554	1.01234	0.99672	0.9615	103.0	1.46	0.72	1.06	3.24	3.11	0.04	0.12	0.11	0.27	0.26	0.03	0.03	3.54	3.40		
13年目	R 3	0.99529	0.98498	1.00168	0.99398	0.9246	103.0	1.45	0.71	1.06	3.22	2.98	0.04	0.12	0.11	0.27	0.25	0.03	0.03	3.52	3.26		
暫定供用開始年次	R 4	0.99527	0.98475	1.00168	0.99394	0.8890	103.0	3.98	2.02	2.68	8.69	7.72	0.32	0.14	0.30	0.76	0.67	0.06	0.06	9.50	8.45		
15年目	R 5	0.99525	0.98452	1.00167	0.99390	0.8548	103.0	3.96	1.99	2.69	8.64	7.39	0.32	0.13	0.30	0.75	0.64	0.06	0.05	9.45	8.08		
16年目	R 6	0.99522	0.98427	1.00167	0.99387	0.8219	103.0	3.94	1.96	2.69	8.59	7.06	0.32	0.13	0.30	0.75	0.62	0.06	0.05	9.41	7.73		
17年目	R 7	0.99520	0.98402	1.00167	0.99383	0.7903	103.0	3.92	1.93	2.70	8.55	6.76	0.32	0.13	0.30	0.75	0.59	0.06	0.05	9.36	7.39		
18年目	R 8	0.99518	0.98376	1.00167	0.99379	0.7599	103.0	3.91	1.90	2.70	8.50	6.46	0.32	0.13	0.30	0.74	0.56	0.06	0.05	9.31	7.07		
19年目	R 9	0.99515	0.98349	1.00166	0.99375	0.7307	103.0	3.89	1.86	2.71	8.46	6.18	0.31	0.13	0.30	0.74	0.54	0.06	0.04	9.26	6.76		
20年目	R 10	0.99513	0.98322	1.00166	0.99371	0.7026	103.0	3.87	1.83	2.71	8.41	5.91	0.31	0.12	0.30	0.74	0.52	0.06	0.04	9.21	6.47		
暫定供用開始年次	R 11	0.99511	0.98293	1.00166	0.99367	0.6756	103.0	5.18	2.53	4.38	12.09	8.17	0.64	0.28	0.64	1.57	1.06	0.17	0.12	13.83	9.34		
完成供用開始年次	R 12	0.99508	0.98263	1.00166	0.99363	0.6496	103.0	8.62	3.97	8.09	20.68	13.43	0.46	0.19	0.84	1.49	0.97	0.57	0.37	22.74	14.77		
23年目	R 13	0.99043	0.99132	0.99716	0.99140	0.6246	103.0	8.54	3.94	8.07	20.54	12.83	0.46	0.19	0.84	1.48	0.93	0.57	0.35	22.59	14.11		
24年目	R 14	0.99033	0.99124	0.99715	0.99133	0.6006	103.0	8.45	3.90	8.04	20.40	12.25	0.45	0.19	0.84	1.47	0.88	0.56	0.34	22.43	13.47		
25年目	R 15	0.99024	0.99116	0.99714	0.99125	0.5775	103.0	8.37	3.87	8.02	20.26	11.70	0.45	0.19	0.83	1.46	0.85	0.56	0.32	22.28	12.87		
26年目	R 16	0.99014	0.99108	0.99714	0.99117	0.5553	103.0	8.29	3.83	8.00	20.12	11.17	0.44	0.18	0.83	1.46	0.81	0.55	0.31	22.13	12.29		
27年目	R 17	0.99005	0.99100	0.99713	0.99109	0.5339	103.0	8.21	3.80	7.98	19.98	10.67	0.44	0.18	0.83	1.45	0.77	0.55	0.29	21.97	11.73		
28年目	R 18	0.98995	0.99092	0.99712	0.99101	0.5134	103.0	8.12	3.76	7.95	19.84	10.19	0.43	0.18	0.83	1.44	0.74	0.54	0.28	21.82	11.20		
29年目	R 19	0.98984	0.99084	0.99711	0.99093	0.4936	103.0	8.04	3.73	7.93	19.70	9.72	0.43	0.18	0.82	1.43	0.71	0.54	0.26	21.67	10.69		
30年目	R 20	0.98974	0.99075	0.99710	0.99085	0.4746	103.0	7.96	3.69	7.91	19.56	9.28	0.42	0.18	0.82	1.42	0.68	0.53	0.25	21.51	10.21		
31年目	R 21	0.98963	0.99067	0.99709	0.99076	0.4564	103.0	7.88	3.66	7.88	19.42	8.86	0.42	0.18	0.82	1.41	0.65	0.53	0.24	21.36	9.75		
32年目	R 22	0.98952	0.99058	0.99709	0.99068	0.4388	103.0	7.79	3.63	7.86	19.28	8.46	0.42	0.17	0.82	1.41	0.62	0.52	0.23	21.21	9.31		
33年目	R 23	0.98941	0.99049	0.99708	0.99059	0.4220	103.0	7.71	3.59	7.84	19.14	8.08	0.41	0.17	0.81	1.40	0.59	0.52	0.22	21.05	8.88		
34年目	R 24	0.98930	0.99040	0.99707	0.99050	0.4057	103.0	7.63	3.56	7.81	19.00	7.71	0.41	0.17	0.81	1.39	0.56	0.51	0.21	20.90	8.48		
35年目	R 25	0.98918	0.99031	0.99706	0.99041	0.3901	103.0	7.55	3.52	7.79	18.86	7.36	0.40	0.17	0.81	1.38	0.54	0.51	0.20	20.75	8.09		
36年目	R 26	0.98907	0.99021	0.99705	0.99032	0.3751	103.0	7.46	3.49	7.77	18.72	7.02	0.40	0.17	0.81	1.37	0.51	0.50	0.19	20.59	7.72		
37年目	R 27	0.98895	0.99012	0.99704	0.99022	0.3607	103.0	7.38	3.45	7.75	18.58	6.70	0.39	0.17	0.80	1.36	0.49	0.50	0.18	20.44	7.37		
38年目	R 28	0.98882	0.99002	0.99703	0.99013	0.3468	103.0	7.30	3.42	7.72	18.44	6.40	0.39	0.16	0.80	1.35	0.47	0.49	0.17	20.29	7.04		
39年目	R 29	0.98870	0.98992	0.99703	0.99003	0.3335	103.0	7.22	3.38	7.70	18.30	6.10	0.39	0.16	0.80	1.35	0.45	0.49	0.16	20.13	6.71		
40年目	R 30	0.98857	0.98981	0.99702	0.98993	0.3207	103.0	7.13	3.35	7.68	18.16	5.82	0.38	0.16	0.80	1.34	0.43	0.48	0.15	19.98	6.41		
41年目	R 31	0.98843	0.98971	0.99701	0.98982	0.3083	103.0	7.05	3.32	7.65	18.02	5.56	0.38	0.16	0.79	1.33	0.41	0.48	0.15	19.83	6.11		
42年目	R 32	0.98830	0.98960	0.99700	0.98972	0.2965	103.0	6.97	3.28	7.63	17.88	5.30	0.37	0.16	0.79	1.32	0.39	0.47	0.14	19.67	5.83		
43年目	R 33	0.98816	0.98949	0.99699	0.98961	0.2851	103.0	6.89	3.25	7.61	17.74	5.06	0.37	0.16	0.79	1.31	0.37	0.47	0.13	19.52	5.57		
44年目	R 34	0.98802	0.98938	0.99698	0.98950	0.2741	103.0	6.80	3.21	7.58	17.60	4.82	0.36	0.15	0.79	1.30	0.36	0.46	0.13	19.37	5.31		
45年目	R 35	0.98787	0.98927	0.99697	0.98939	0.2636	103.0	6.72	3.18	7.56	17.46	4.60	0.36	0.15	0.79	1.30	0.34	0.46	0.12	19.21	5.06		
46年目	R 36	0.98772	0.0																				

便益の現在価値算定表

【残事業】

箇所名：小松バイパス

年次	年度 (基準年)	総走行台和の年次別伸び率 (四国ブロック)				割引率 (A)	GDP デフレーター	走行時間短縮便益 (億円)					走行費用減少便益 (億円)					事故減少便益 (億円)			合計 (億円)	
		乗用車類	小型貨物	普通貨物	全 車			① 計	現在価値 ①×(A)	乗用車類	小型貨物	普通貨物	② 計	現在価値 (A)×②	③	現在価値 ③×(A)	便益合計 (①～③)	現在価値 割引率4%				
暫定供用開始年次	R 4	0.99527	0.98475	1.00168	0.99394	0.8890	103.0	2.54	1.32	1.62	5.48	4.87	0.28	0.02	0.19	0.49	0.44	0.03	0.03	6.00	5.34	
1年目	R 5	0.99525	0.98452	1.00167	0.99390	0.8548	103.0	2.52	1.30	1.62	5.45	4.66	0.28	0.02	0.19	0.49	0.42	0.03	0.03	5.97	5.10	
2年目	R 6	0.99522	0.98427	1.00167	0.99387	0.8219	103.0	2.51	1.28	1.62	5.42	4.45	0.28	0.02	0.19	0.49	0.40	0.03	0.03	5.94	4.88	
3年目	R 7	0.99520	0.98402	1.00167	0.99383	0.7903	103.0	2.50	1.26	1.63	5.39	4.26	0.28	0.02	0.19	0.49	0.38	0.03	0.02	5.91	4.67	
4年目	R 8	0.99518	0.98376	1.00167	0.99379	0.7599	103.0	2.49	1.24	1.63	5.36	4.07	0.28	0.02	0.19	0.49	0.37	0.03	0.02	5.88	4.46	
5年目	R 9	0.99515	0.98349	1.00166	0.99375	0.7307	103.0	2.48	1.22	1.63	5.33	3.89	0.27	0.02	0.19	0.48	0.35	0.03	0.02	5.84	4.27	
6年目	R 10	0.99513	0.98322	1.00166	0.99371	0.7026	103.0	2.46	1.20	1.63	5.30	3.72	0.27	0.02	0.19	0.48	0.34	0.03	0.02	5.81	4.08	
暫定供用開始年次	R 11	0.99511	0.98293	1.00166	0.99367	0.6756	103.0	3.78	1.91	3.30	9.00	6.08	0.60	0.18	0.53	1.32	0.89	0.14	0.10	10.45	7.06	
完成供用開始年次	R 12	0.99508	0.98263	1.00166	0.99363	0.6496	103.0	7.23	3.36	7.01	17.60	11.43	0.42	0.09	0.73	1.24	0.81	0.54	0.35	19.38	12.59	
9年目	R 13	0.99043	0.99132	0.99716	0.99140	0.6246	103.0	7.16	3.33	6.99	17.48	10.92	0.42	0.09	0.73	1.23	0.77	0.54	0.33	19.25	12.02	
10年目	R 14	0.99033	0.99124	0.99715	0.99133	0.6006	103.0	7.09	3.30	6.97	17.36	10.43	0.41	0.09	0.73	1.23	0.74	0.53	0.32	19.12	11.48	
11年目	R 15	0.99024	0.99116	0.99714	0.99125	0.5775	103.0	7.02	3.27	6.95	17.25	9.96	0.41	0.09	0.72	1.22	0.70	0.53	0.30	18.99	10.97	
12年目	R 16	0.99014	0.99108	0.99714	0.99117	0.5553	103.0	6.95	3.24	6.93	17.13	9.51	0.40	0.09	0.72	1.21	0.67	0.52	0.29	18.86	10.47	
13年目	R 17	0.99005	0.99100	0.99713	0.99109	0.5339	103.0	6.88	3.21	6.91	17.01	9.08	0.40	0.09	0.72	1.21	0.64	0.52	0.28	18.73	10.00	
14年目	R 18	0.98995	0.99092	0.99712	0.99101	0.5134	103.0	6.81	3.18	6.89	16.89	8.67	0.40	0.09	0.72	1.20	0.62	0.51	0.26	18.60	9.55	
15年目	R 19	0.98984	0.99084	0.99711	0.99093	0.4936	103.0	6.75	3.16	6.87	16.77	8.28	0.39	0.08	0.72	1.19	0.59	0.51	0.25	18.47	9.12	
16年目	R 20	0.98974	0.99075	0.99710	0.99085	0.4746	103.0	6.68	3.13	6.85	16.65	7.90	0.39	0.08	0.71	1.19	0.56	0.50	0.24	18.34	8.70	
17年目	R 21	0.98963	0.99067	0.99709	0.99076	0.4564	103.0	6.61	3.10	6.83	16.54	7.55	0.38	0.08	0.71	1.18	0.54	0.50	0.23	18.21	8.31	
18年目	R 22	0.98952	0.99058	0.99709	0.99068	0.4388	103.0	6.54	3.07	6.81	16.42	7.20	0.38	0.08	0.71	1.17	0.51	0.49	0.22	18.08	7.93	
19年目	R 23	0.98941	0.99049	0.99708	0.99059	0.4220	103.0	6.47	3.04	6.79	16.30	6.88	0.38	0.08	0.71	1.16	0.49	0.49	0.21	17.95	7.58	
20年目	R 24	0.98930	0.99040	0.99707	0.99050	0.4057	103.0	6.40	3.01	6.77	16.18	6.56	0.37	0.08	0.71	1.16	0.47	0.48	0.20	17.82	7.23	
21年目	R 25	0.98918	0.99031	0.99706	0.99041	0.3901	103.0	6.33	2.98	6.75	16.06	6.27	0.37	0.08	0.70	1.15	0.45	0.48	0.19	17.69	6.90	
22年目	R 26	0.98907	0.99021	0.99705	0.99032	0.3751	103.0	6.26	2.95	6.73	15.94	5.98	0.36	0.08	0.70	1.14	0.43	0.47	0.18	17.56	6.59	
23年目	R 27	0.98895	0.99012	0.99704	0.99022	0.3607	103.0	6.19	2.92	6.71	15.83	5.71	0.36	0.08	0.70	1.14	0.41	0.47	0.17	17.43	6.29	
24年目	R 28	0.98882	0.99002	0.99703	0.99013	0.3468	103.0	6.12	2.89	6.69	15.71	5.45	0.36	0.08	0.70	1.13	0.39	0.47	0.16	17.30	6.00	
25年目	R 29	0.98870	0.98992	0.99703	0.99003	0.3335	103.0	6.05	2.86	6.67	15.59	5.20	0.35	0.08	0.69	1.12	0.37	0.46	0.15	17.17	5.73	
26年目	R 30	0.98857	0.98981	0.99702	0.98993	0.3207	103.0	5.98	2.83	6.65	15.47	4.96	0.35	0.08	0.69	1.12	0.36	0.46	0.15	17.04	5.47	
27年目	R 31	0.98843	0.98971	0.99701	0.98982	0.3083	103.0	5.91	2.81	6.63	15.35	4.73	0.34	0.08	0.69	1.11	0.34	0.45	0.14	16.91	5.21	
28年目	R 32	0.98830	0.98960	0.99700	0.98972	0.2965	103.0	5.85	2.78	6.61	15.23	4.52	0.34	0.07	0.69	1.10	0.33	0.45	0.13	16.78	4.98	
29年目	R 33	0.98816	0.98949	0.99699	0.98961	0.2851	103.0	5.78	2.75	6.59	15.12	4.31	0.34	0.07	0.69	1.10	0.31	0.44	0.13	16.65	4.75	
30年目	R 34	0.98802	0.98938	0.99698	0.98950	0.2741	103.0	5.71	2.72	6.57	15.00	4.11	0.33	0.07	0.68	1.09	0.30	0.44	0.12	16.52	4.53	
31年目	R 35	0.98787	0.98927	0.99697	0.98939	0.2636	103.0	5.64	2.69	6.55	14.88	3.92	0.33	0.07	0.68	1.08	0.29	0.43	0.11	16.39	4.32	
32年目	R 36	0.98772	0.98915	0.99696	0.98928	0.2534	103.0	5.57	2.66	6.53	14.76	3.74	0.32	0.07	0.68	1.08	0.27	0.43	0.11	16.26	4.12	
33年目	R 37	0.98757	0.98903	0.99695	0.98916	0.2437	103.0	5.50	2.63	6.51	14.64	3.57	0.32	0.07	0.68	1.07	0.26	0.42	0.10	16.13	3.93	
34年目	R 38	0.98741	0.98891	0.99694	0.98904	0.2343	103.0	5.43	2.60	6.49	14.52	3.40	0.32	0.07	0.68	1.06	0.25	0.42	0.10	16.00	3.75	
35年目	R 39	0.98725	0.98879	0.99693	0.98892	0.2253	103.0	5.36	2.57	6.47	14.41	3.25	0.31	0.07	0.67	1.05	0.24	0.41	0.09	15.87	3.58	
36年目	R 40	0.98709	0.98866	0.99693	0.98880	0.2166	103.0	5.29	2.54	6.45	14.29	3.09	0.31	0.07	0.67	1.05	0.23	0.41	0.09	15.75	3.41	
37年目	R 41	0.98692	0.98853	0.99692	0.98867	0.2083	103.0	5.22	2.51	6.43	14.17	2.95	0.30	0.07	0.67	1.04	0.22	0.41	0.08	15.62	3.25	
38年目	R 42	0.98675	0.98839	0.99691	0.98854	0.2003	103.0	5.15	2.48	6.41	14.05	2.81	0.30	0.07	0.67	1.03	0.21	0.40	0.08	15.49	3.10	
39年目	R 43	0.98657	0.98826	0.99690	0.98841	0.1926	103.0	5.08	2.46	6.39	13.93	2.68	0.30	0.07	0.67	1.03	0.20	0.40	0.08	15.36	2.96	
40年目	R 44	0.98639	0.98812	0.99689	0.98827	0.1852	103.0	5.02	2.43	6.37	13.81	2.56	0.29	0.06	0.66	1.02	0.19	0.39	0.07	15.23	2.82	
41年目	R 45	0.98620	0.98798	0.99688	0.98813	0.1780	103.0	4.95	2.40	6.35	13.70	2.44	0.29	0.06	0.66	1.01	0.18	0.39	0.07	15.10	2.69	
42年目	R 46	0.98601	0.98783	0.99687	0.98799	0.1712	103.0	4.88	2.37	6.33	13.58	2.32	0.28	0.06	0.66	1.01	0.17	0.38	0.07	14.97	2.56	
43年目	R 47	0.98581	0.98768	0.99686	0.98785	0.1646	103.0	4.81	2.34	6.31	13.46	2.22	0.28	0.06	0.66	1.00	0.16	0.38	0.06	14.84	2.44	
44年目	R 48	0.98560	0.98753	0.99685	0.98770	0.1583	103.0	4.74	2.31	6.29	13.34	2.11	0.28	0.06	0.66	0.99	0.16	0.37	0.06	14.71	2.33	
45年目	R 49	0.98539	0.98737	0.99684	0.98754	0.1522	103.0	4.67	2.28	6.27	13.22	2.01	0.27	0.06	0.65	0.99	0.15	0.37	0.06	14.58	2.22	
46年目	R 50	0.98518	0.98721	0.99683																		

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道11号	小松バイパス	4	7.5km

■事業費内訳(全体事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考	
①工事費	改良費				4,953		
	土工	m3	566,416	872	切土(29,893m3)、盛土(536,523m3)		
	軟弱地盤改良工	m3					
	法面工	m²	15,554	25	切土法面、盛土法面		
	擁壁工	式	1	943	プレキャストL型擁壁、重力式擁壁、逆T式擁壁		
	管渠工	m	819	111			
	函渠工	m	395	260			
	排水工	m	14,148	933			
	中央分離帯工	m	7,074	330			
	雑工	式	1	1,479	機能補償道路・水路等		
	橋梁費				3,457		
	100m以上	m	275	2,175	鋼橋1橋		
	100m未満	m	162	1,282	PC橋4橋		
	トンネル費						
	NATM	m					
	シールド	m					
	IC・JCT費						
	IC	箇所					
	JCT	箇所					
	舗装費		m²	158,954	1,138		
	車道舗装	m²	120,071	954			
	歩道舗装	m²	38,883	184			
	付帯施設費		式		382		
交通管理施設工	式	1	382	標識工、防護柵工、道路照明等			
遮音壁	m						
②用地及補償費				5,365			
用地費		m²	204,000	2,180			
宅地	m²						
田畑	m²	198,682	2,064				
山林・原野	m²						
その他	m²	5,318	116				
補償費		式		3,185			
③間接経費		式	1	3,005	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費		
事業費合計				18,300			

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、四国共通ユニットプライス単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道11号	小松バイパス	4	7.5km

■事業費内訳(残事業)

区分	費目	工種	単位	数量	金額 (百万円)	備考
①工事費					6,475	
	改良費				2,290	
		土工	m ³	541,616	710	切土(29,893m ³)、盛土(511,723m ³)
		軟弱地盤改良工	m ³			
		法面工	m ²	12,723	3	切土法面、盛土法面
		擁壁工	式	1	205	プレキャストL型擁壁、重力式擁壁、逆T式擁壁
		管渠工	m	689	16	
		函渠工	m	294	190	
		排水工	m	8,801	406	
		中央分離帯工	m	4,953	237	
		雑工	式	1	523	機能補償道路・水路等
	橋梁費				3,202	
		100m以上	m	275	2,175	鋼橋1橋
		100m未満	m	162	1,027	PC橋4橋
	トンネル費					
		NATM	m			
		シールド	m			
	IC・JCT費					
		IC	箇所			
		JCT	箇所			
	舗装費		m ²	129,020	679	
		車道舗装	m ²	102,676	552	
		歩道舗装	m ²	26,344	127	
	付帯施設費		式		304	
		交通管理施設工	式	1	304	標識工、防護柵工、道路照明等
		遮音壁	m			
②用地及補償費					843	
	用地費		m ²	154,000	534	
		宅地	m ²			
		田畑	m ²	154,000	534	
		山林・原野	m ²			
		その他	m ²			
	補償費		式		309	
③間接経費			式	1	1,031	地質調査、測量、設計にかかる費用及び予備費
事業費合計					8,349	

【単価等について】

○工事費算出にあたっては、四国共通ユニットプライス単価を使用

○用地補償費算出にあたっては、近接事業箇所の直近実績単価を使用

全事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道11号	小松バイパス	4	7.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.5	908	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	6,390	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			7,298	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。

残事業

路線名	箇所名	車線数	延長
一般国道11号	小松バイパス	4	7.5km

■維持管理費内訳

区分	単位	数量	金額 (百万円)	備考
維持費	km	7.5	1,118	巡回、清掃、除草、除雪等
修繕費	式	1	7,521	路面補修、構造物の点検・補修等
その他	式			
維持管理費合計			8,639	

【単価等について】

○維持管理費は、当該道路周辺地域における直轄国道の維持管理等に要する実績経費に基づき算出。